

## 水生生物調査



7月22日・横山小学校 5年生の皆さんと臈気川合流点で、8月9日・最上川を愛する町民 会議の皆さんと亀井田橋(川前)で、8月28日・駒籠小学校 5・6年生の皆さんと丹生川で、水生生物調査による水質の簡易調査を行いました。調査の結果、臈気川合流地点と亀井田橋は『少し汚れた水』、丹生川は『きれいな水』との結果が出ました。真剣に石裏の虫を探したり、パックテストの川水の色の変化にも興味津々でみんな楽しそうに水質の調査を行っていました(^-^)



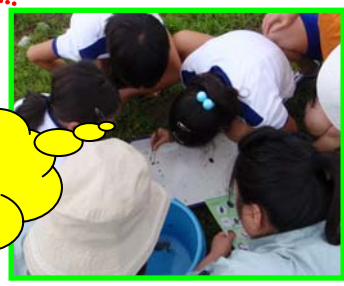
何色に  
変わったかな!?



川が汚れました!



去年に比べてヒルが少ないなあ!!



☆今回の水生生物調査を行っての感想☆  
 「川の生物と汚れなどたくさんの事を学びました。」  
 「最初は大きい虫にビックリしたけど慣れてくるうちに楽しくなりました。」  
 「汚い水やゴミを捨てないように努力していきたい。」など、たくさんの感想を頂きました!!ご協力ありがとうございました(^o^)

## 1日河川パトロール



大石田消流雪揚水機場の説明を聞いています☆

横山消流雪工事現場を見学中

7月25日、福原中学校の生徒2名、大石田第一中学校の生徒3名に参加していただき一日河川パトロールを行いました。各施設の点検、現場見学、徒歩による巡視などを行いました(^o^)



なるほど!!

☆今回の一日河川パトロールを行っての感想☆  
 「初めて消流雪揚水機場を見て…揚水機ポンプで冬場安全で居られるんだなあと思いました。」  
 「地域の人達と協力して最上川を守っているということがすごいと思えました。」  
 「パトロールに行ってみて、とても勉強になりました。」など、感想を頂きました!!お疲れ様でした!!!

# 横山地区取水施設設置工事

## 完成しました!!!



工事中は皆様に御協力いただき無事、施設を完成することが出来ました。ありがとうございました。

### 工事を終えて…現場責任者より一言

(株)柿崎工務所 渡辺 勝

去年から工事を着手し、一般交通への配慮を重視し、又、通学路である為に朝夕の歩行者の安全の確保に細心の注意を払い施工しました。冬の雪対策事業という事で、今回施工した取水施設がきっかけで大石田町のライフラインが更に良くなっていけば嬉しいです。工事を終え、事故なく竣工を迎えられました事を、住民の皆様方に感謝します。



## ～川の散歩道～

### 【奥の細道の頃】

大石田特殊堤を散歩していると「奥の細道」の碑が目にとまりました。「奥の細道」は芭蕉46才の時のみちのく紀行ですが、その時の季節や天気はどうだったのだろうか少し気になって手持ちの本などをめくってみました。

いささか季節外れのことになるのですが、芭蕉が大石田を訪ねたのは今から319年前(1689年)、陰暦5月28日(新暦7月14日)でちょうど梅雨の頃になります。「奥の細道」によれば、芭蕉が一関から山形県に入ったのは5月15日(7月1日)で堺田(封人の家)に着いています。そこでは大雨で二日間滞留を余儀なくされています。この時の大雨は、想像ですが梅雨前線と台風が関係したものではないかと思えます。

台風一過?快晴となった5月17日(7月3日)紅花の咲く道中を尾花沢の俳人清風宅に向かいます。この日は気温が上がり正午頃に夕立にあっています。尾花沢には十日間滞在し、「涼しさを我宿にしてねまる也」「眉掃きを佛にして紅粉の花」などの句を作っています。俳句の素養は有りませんので勝手な解釈と想像ですが、滞在中の天気は梅雨の時期らしく北のオホーツク海高気圧の影響を受け冷たい東風と、しとしとと雨の降る日が多かったと思われます。

ようやく天気が回復した5月27日(7月13日)尾花沢を発って山寺(立石寺)に向かいます。ここで、「山寺や石にしみつく蟬の声」次に「さびしさや岩にしみ込む蟬の声」となり、そして「閑さや岩にしみ入蟬の声」で完成?します。この句の蟬はアブラゼミかニーニーゼミかの論争があるとか、素人考えですがアブラゼミのあの声では岩にしみ込まず跳ね返ってしまいそうです…。この後、大石田に向かうわけですが…つづきは次回にしたいと思います。

渡部 記



ご意見・ご感想など  
ありましたら、お気軽に  
ご連絡下さい

国土交通省 東北地方整備局  
新庄河川事務所 大石田出張所

〒999-4113 北村山郡大石田町大字今宿字鷺の原466-2

TEL0237-35-2024 FAX0237-35-2354